

新潟県の地震概況 令和6年(2024年)10月

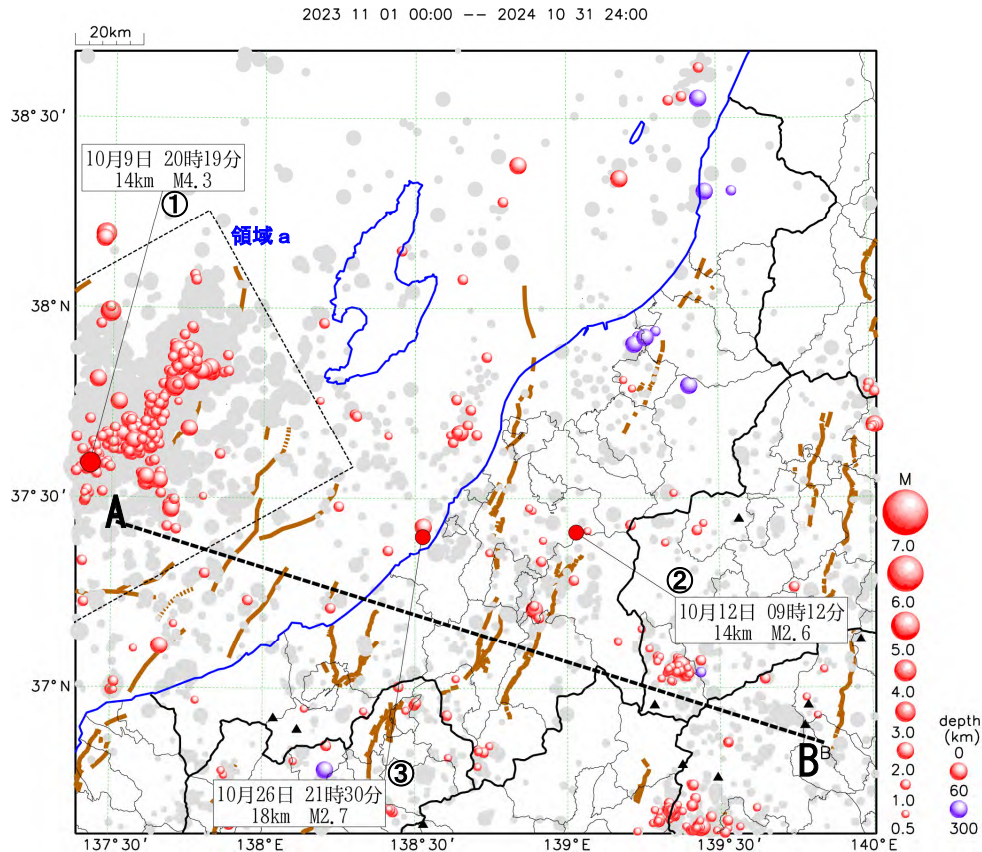
令和6年11月13日

新潟地方気象台

【10月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回（最大は震度1）でした。新潟県とその周辺（図1）で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は3回でした。（「期間内に発生した主な地震」を参照）

【10月に新潟県周辺で発生した地震】

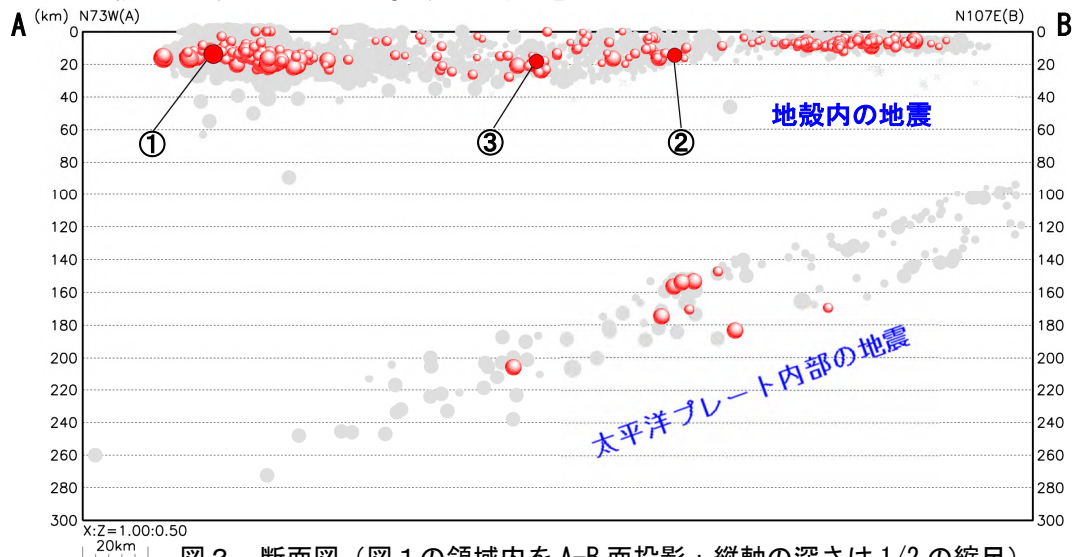


※過去1年間の地震を表示。令和6年10月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

※領域aは令和6年能登半島地震の活動域を示す。



【期間内に発生した主な地震】

- ② 12日09時12分 新潟県中越地方の地震 (M2.6、深さ14km) により、新潟県魚沼市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生したもので、平成16年(2004年)新潟県中越地震の余震域内で発生しました。
- ③ 26日21時30分 新潟県上中越沖の地震 (M2.7、深さ18km) により、新潟県柏崎市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生したもので、平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震域内で発生しました。 ※情報発表に用いた震央地名は「新潟県中越地方」です。

○令和6年能登半島地震

令和6年能登半島地震の地震活動は、2020年12月から3年以上続いており、1月1日に発生したM7.6の地震からは10ヶ月以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきていますが、依然として地震活動は活発な状態です。

10月中の最大規模の地震は、①9日20時19分 能登半島沖(最大震度2)で発生したM4.3の地震で、石川県、富山県で震度2を観測し、新潟県内でも広く震度1を観測しました。

10月中に震度1以上を観測した地震は14回発生^(注1)しており、その内新潟県で震度を観測した地震は1回でした。

注1) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

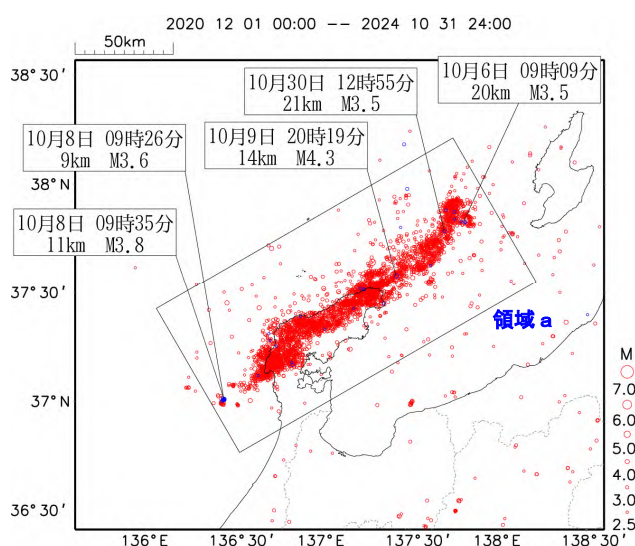


図3 震央分布図(深さ0~30km、M2.5以上)

- ・図3の吹き出しは2024年10月に発生した、最大震度3以上の地震又はM3.5以上の地震
- ・図4の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・2020年12月~2024年9月に発生した地震を赤色、2024年10月を青色で示した

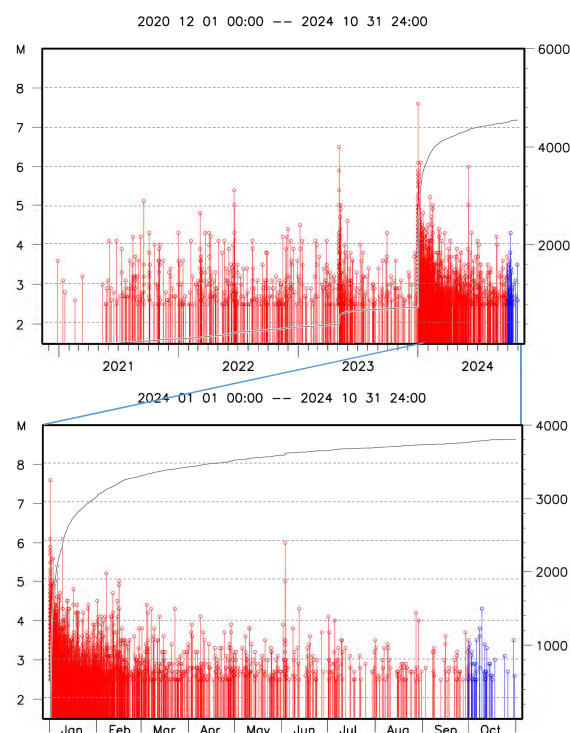


図4 図3の領域a内の活動経過図及び回数積算図

【新潟県内で震度1以上を観測した地震】 期間 2024年10月1日～2024年10月31日

※ *1は令和6年能登半島地震の活動域内で発生した地震

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2024年10月09日20時19分 能登半島沖	37° 35.3' N 137° 25.7' E	14km	M4.3	2	*1	
震度 1：糸魚川市一の宮, 糸魚川市大野*, 糸魚川市青海*, 糸魚川市能生*, 上越市中ノ俣, 上越市大手町, 上越市木田*, 上越市安塚区安塚*, 上越市牧区柳島*, 上越市頸城区百間町*, 上越市中郷区藤沢*, 上越市三和区井ノ口*, 上越市名立区名立大町*, 妙高市田町*, 妙高市関山*, 妙高市田口*, 長岡市寺泊敦ケ曽根*, 長岡市中之島*, 柏崎市西山町池浦*, 出雲崎町米田, 出雲崎町川西*, 刈羽村割町新田*, 新潟空港, 佐渡市相川三町目, 佐渡市岩谷口*, 佐渡市千種*, 佐渡市河原田本町*, 佐渡市羽茂本郷*, 佐渡市真野新町*, 佐渡市赤泊*, 佐渡市相川栄町*, 佐渡市新穂瓜生屋*, 佐渡市小木町*						
② 2024年10月12日09時12分 新潟県中越地方	37° 24.6' N 139° 01.8' E	14km	M2.6	1		
震度 1：魚沼市須原*						
③ 2024年10月26日21時30分 新潟県上中越沖	37° 23.9' N 138° 31.5' E	18km	M2.7	1		
震度 1：柏崎市日石町*						

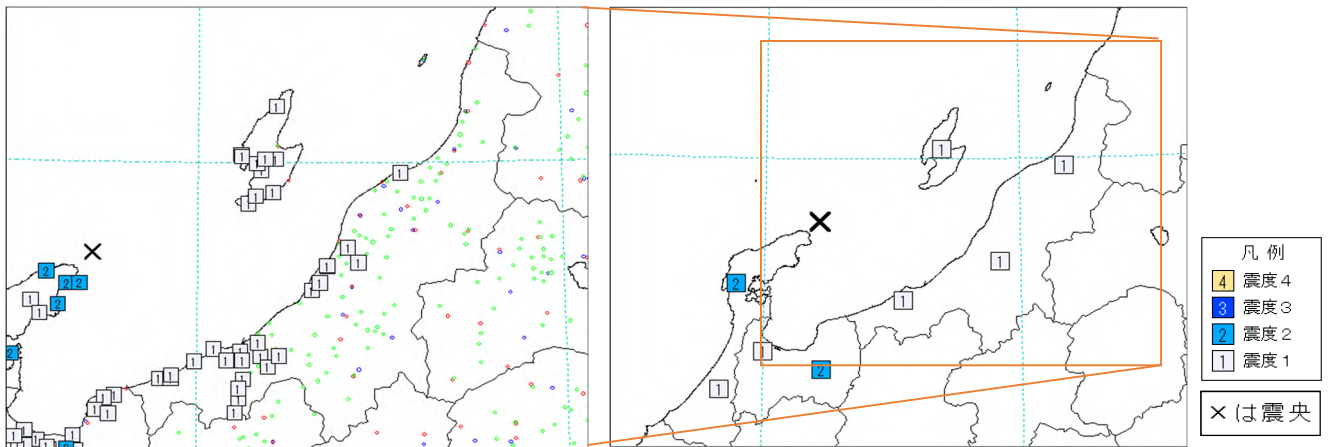
【震度分布図】

図中○は震度観測点を示す

① 9日20時19分 能登半島沖

観測点別震度分布図

地域別震度分布図

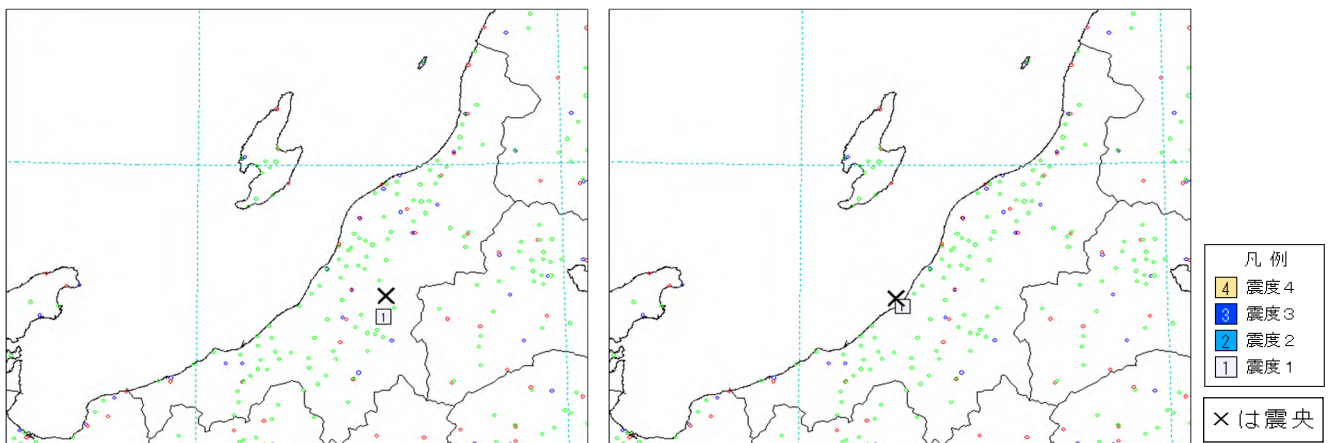


② 12日09時12分 新潟県中越地方

観測点別震度分布図

③ 26日21時30分 新潟県上中越沖

観測点別震度分布図



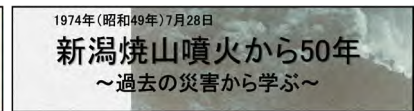
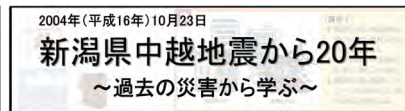
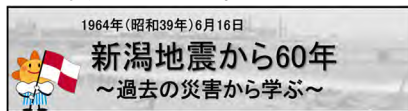
【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2023 年		2024 年										
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	合計
震度 1	3	3	96	6	7	1	2	6	6	2	0	3	135
震度 2	1	1	32	4	1	2	0	1	0	1	0	0	43
震度 3	1	0	12	3	0	0	0	0	1	0	0	0	17
震度 4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
震度 5 弱	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
震度 5 強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 6 弱	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	5	4	143	13	8	3	2	8	7	3	0	3	199

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

○2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、平成16年(2004年)新潟県中越地震から20年という、災害の発生から節目の年となります。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がり、気象台も参加しています。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

※気象台ではこの活動の取組の一つとして、これらの特設サイトを開設しました。(令和6年4月26日)
過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。



新潟地方気象台HPのトップページで各サイトへのリンクを掲載しています。

【令和6年能登半島地震の各種資料】

○令和6年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和6年1月 地震・火山月報(防災編)に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

平成16年（2004年）10月23日

新潟県中越地震

新潟県中越地震から20年！

2004年（平成16年）10月23日、新潟県中越地方を震源とするマグニチュード(M)6.8の大地震が発生し、本震に続いて活発な余震活動が発生しました。この地震により、68人の方が亡くなり、4,805人の方が負傷し、3,175棟の住居が全壊するなど、新潟県を中心に大きな被害が生じました。また、避難者は多い時には10万人を超えました。

【概要】

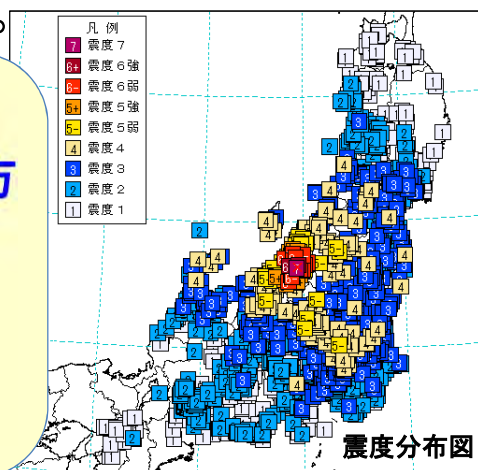
震央 新潟県中越地方

北緯 37度17.5分

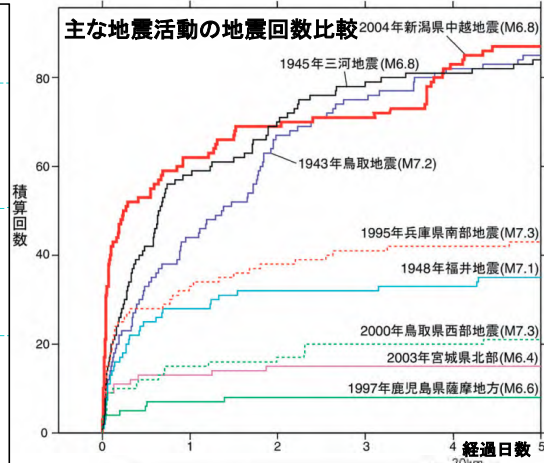
東経 138度52.0分

深さ 13km

マグニチュード 6.8

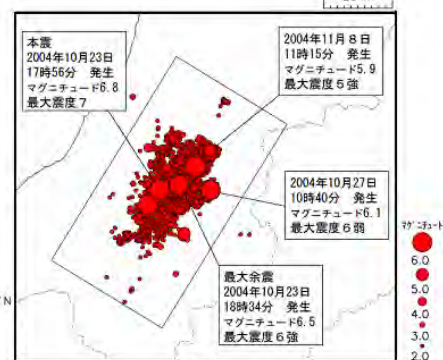


出展：鉄道事故調査報告書(RA2007-8)



この地震により、新潟県長岡市(旧川口町)で震度7、小千谷市、長岡市(旧山古志村、旧小国町)で震度6強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度6弱から1を観測しました。この地震では震度計による観測で初めて震度7を観測しました。

この地震の大きな特徴として、震度7をもたらした強烈な強震動と本震に続いた活発な余震活動があります。本震に続くやや規模の大きな余震活動(M4.0以上)は、それ以前に発生した主な陸域の浅い地震の余震活動と比べて、本震発生直後1週間程度にわたって特に活発でした。



広く浸水した河道の閉塞
[長岡市山古志木籠(こごも地区)]



屋根の一部が崩落して瓦が散らばった神社
[長岡市川口地区]



崩落した国道291号
[小千谷市蔭生(ひう)地区]

2004年(平成16年)10月23日

新潟県中越地震から20年

～過去の災害から学ぶ～

新潟県中越地震から20年目の節目の年です。過去の災害を振り返り、地震・津波への備えを改めて確認していただくために、特設ページを設けております。

https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/chuetsu_main.html



平成16年（2004年）10月23日 新潟県中越地震

被害状況の写真

